

# 実践記録

## 122

### シリーズ

## 「郷土学習(食育)教室」～郷土を愛する心を育む～

糸魚川市 糸魚川地区公民館 主事 安田 恵子

### ○はじめに

糸魚川地区公民館では、子どもを対象に様々な事業を展開していますが、平成16年度から一年を通じ参加者を固定した事業の取り組みを始めました。

糸魚川地区公民館区域内にある小学校2校を対象に、学年を超え協力し共に学ぶことに力を入れ事業を推進しています。

#### 1. 目的

地元の方を講師に、地域の食材について学習し、その良さを認識することで郷土を愛する心を育む。

また、食について学ぶことで、子どもたちから良い食生活の習慣を身につける。

#### 2. 募集

糸魚川地区公民館区域内2校の小学校へ、全児童を対象としてチラシを配布(定員25名のところ予想を上回る申込みがあり、スタッフの確保が難しいため断らざるを得なかったのは残念であった。)

#### 3. 構成人員

参加者：小学1年生から6年生の男女25名

スタッフ：講師1名・アシスタント7名・中学生ボランティア2名・事務局2名の12名 計37名

#### 4. 学習内容

月 日	内 容		備 考
19. 6. 2	お店見学	魚からかまぼこができる過程について学習 魚のアラを使って味噌汁作り	鮮魚店・かまぼこ店見学
19. 7. 21	海の魚	刺し網の魚を網からはずし、魚をさばき浜汁作り	市振漁港
19. 10. 14	川の魚 (鮭)	内水面漁協の方から鮭について話を聞き、鮭の捕獲を体験し、その鮭を使い料理に挑戦	田海川
19. 12. 15	餅つき	地元協力員と、杵と臼を使い餅つきを体験 ついた餅でお雑煮作り	青少年ホーム
20. 2. 16	異世代交流	地元の食材でトン汁作り	シニア男の料理教室(高齢者)と共催

班編成：6班(子ども4～5人・スタッフ2名)とし、5回とも固定

#### 5. 事業の成果

- ・食材について生産者から話を聞き、実際に手で触れ、それを使って調理をする。一連の流れを体験することで、地域の食材と食の安全安心に関して興味を持つことができた。
- ・小学1年～6年までの子どもたちが、教室の回を重ねることで学年の垣根を超え、いたわりの心や協調の精神が養われた。

#### 6. 今後の課題

- ・小学生を対象とした屋外での事業のため、安全の確保と、それに慣れたスタッフ(学校教師や保育士など)の確保が難しい。
- ・近年の気候の変化で地域生産者との日程調整が難しく、予定が立てにくい。

以上の悩みを抱えつつ、子どもたちの輝く顔を見ると、次年度も何をしようか意欲が沸く事務局です。



鮭の捕獲体験



鮭料理に挑戦